

ユネスコ アジア太平洋無形文化遺産研究センター 開設記念シンポジウム

危機に瀕する無形文化遺産の 復興と継承を考える

平成23年10月3日、堺市博物館内に、(独)国立文化財機構の7番目の施設として、新たにユネスコが賛助するアジア太平洋無形文化遺産研究センターが開設されることを記念し、ユネスコが推進する無形文化遺産の保護に関するシンポジウムを開催します。

今年3月11日に発生した東日本大震災をはじめ、国内外において無形文化遺産の存続を脅かす事象が頻発する中、無形文化遺産の保護と復興のために、今後、日本や地域社会がどのような役割を果たしていくべきかを考えます。

併せて、東日本大震災の復興支援の思いを込めて、被災地の岩手県花巻市から、平成21年にユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載された早池峰神楽(はやちねかぐら=写真右=)の演者の皆さんをお招きして、芸能公演を行います。

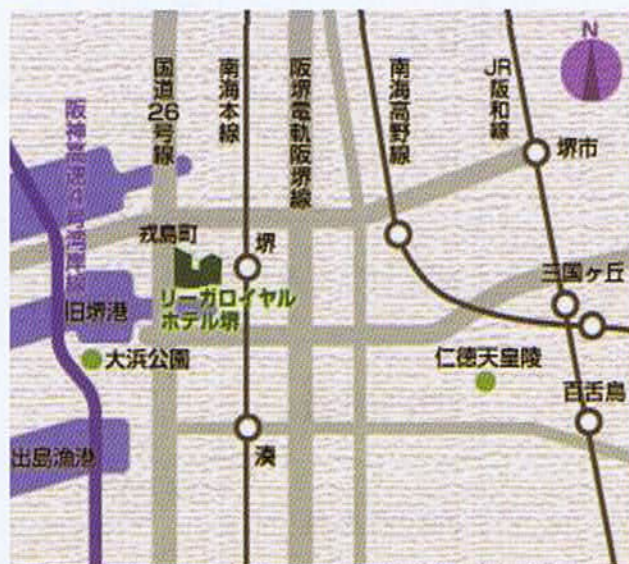


日時 平成23年10月4日(火)
13:30~16:00(13:00開場)

会場 リーガロイヤルホテル堺4階
ロイヤルホール
(電話 072 - 224 - 1121)

定員 300人(参加無料)

申込 9月2日から受付開始
(詳しくは裏面をご参照ください)



主催 文化庁、(独)国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター、堺市
協力(予定) (独)日本芸術文化振興会国立文楽劇場
後援(予定) 外務省、日本ユネスコ国内委員会、大阪府

アジア太平洋無形文化遺産研究センター 開設記念シンポジウム

◆◆◆ 危機に瀕する無形文化遺産の復興と継承を考える ◆◆◆

プログラム

- ◇ 主催者ご挨拶
- ◇ 芸能公演
 - ※ 早池峰神楽：三番叟・権現舞
- ◇ パネルディスカッション
 - ※ コーディネーター：藤井知昭 アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長
 - ※ パネリスト：
 - 山路興造 民俗芸能学会代表理事、民俗学者
 - Sam-Ang Sam カンボジア王国文化芸術省次官、バンニャシヤストラ大学教授
(キリバス共和国からの無形文化遺産関係者もお招きする予定です)
- ◇ 展示：ユネスコの代表一覧表にも記載されている人形浄瑠璃文楽、国選択・大阪府指定無形民俗文化財「上神谷のこおどり」、堺市で制作した無形文化遺産や百舌鳥・古市古墳群のパネル展示を行います。

申込 方法

FAX、メール、往復はがきのいずれかに、郵便番号、住所、氏名（ふりがなをお願いします）、電話・FAX番号、参加人数（1通につき3人まで）を記入の上、下記の間合せ先までお申し込みください。9月2日午前9時から受付開始。先着順。

参加申込用紙
FAX 072 - 245 - 6263
堺市博物館 学芸課 行

住所	〒
申込者氏名	(ふりがな)
電話・FAX番号	電話 FAX
同伴者氏名	(ふりがな)
同伴者氏名	(ふりがな)